

こんにちは!!  
**市長**です Vol.16  
 「上毛かるた」

「つる舞う形のく群馬県」  
 お正月に、「上毛かるた競技大会」がありました。市内の小・中学生が、個人戦、団体戦で白熱した戦いを繰り広げました。

私も小学生の時に、出場したことがあります。「㊦力あわせる二百万」の読み札は、「力あわせる百六十万」でした。渋川の絵札は、二枚ありました。一つは「㊦伊香保温泉日本の名湯」、もう一つは「㊦理想の電化に電源群馬」。



1月19日、市武道館で行われた競技大会であいさつ

は佐久発電所から当時建設中の下久保ダム（現在建設中の八ッ場ダムかと思いましたが）に変わりました。子どもの頃に焼き付いていたサージタンクの絵がなくなってしまうのは、残念です。

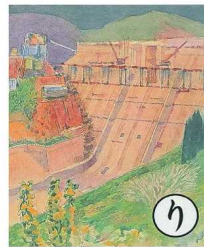
佐久発電所は、昭和3年に浅野総一郎によって完成した、当時東洋一の発電所です。最大出力7万7千キロワット、年間約14万世帯分の発電能力があります。完成の前年に亡くなった、妻「サク」さんの名前を付けたと言われています。

総一郎の没後、その子どもたちは発電所の電力をもとに、次々と工場を建て、工業都市渋川の礎を築きました。

絵札は変わりましたが、電源群馬発祥の地渋川の目印である佐久発電所のサージタンクは、市民の誇りです。総一郎の壮大な夢を形に、『産業都市渋川』をつくっていきたいと思います。



昭和22年～42年に発行した絵札 許諾第30-02082号



昭和43年以降発行されている絵札